

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権啓発課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	基本事業	人権啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	人権啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権に関する市民意識調査を行い、研修講座や講演会の開催など、各種啓発事業を行う。 ・人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援、人権・同和問題指導者研修講座の開催、ハンセン病を正しく理解する講演会の開催、ハンセン病を正しく理解するパネル展・作品展の開催、人権フェスティバルの開催、民間と連携した啓発活動、企業等への啓発を行う。		
29年度概要	基本的人権を尊重する社会を確立するため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、研修講座や講演会の開催など、各種啓発事業を行う。 ・人権啓発推進員（コミュニティ協議会選出）の支援、人権・同和問題指導者研修講座の開催、ハンセン病を正しく理解する講演会の開催、ハンセン病を正しく理解するパネル展・作品展の開催、人権フェスティバルの開催、LGBT協働企画提案事業、市民意識調査、民間と連携した啓発活動、企業等への啓発を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

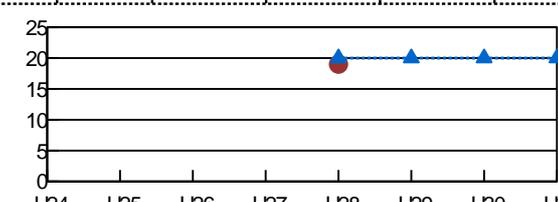
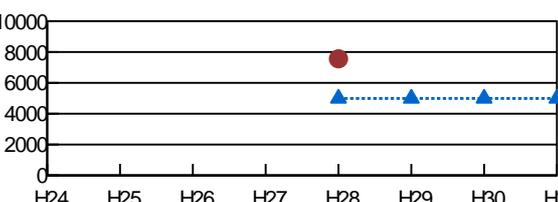
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民のあらゆる人権問題に関する啓発を行い、市民の人権に対する理解を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
講演会等の開催回数	回			6	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
市民満足度（「人権を大切に作る社会づくり」）	%	目標値			20	20	20
		実績値			19		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度については目標値にわずかに届かなかった。実施している人権啓発活動について、ある程度の支持層に定着している一方で、従来の周知方法では新規支持層を広げることに限界があり、今後実施内容を含め、細部の検討を行う必要があると思われる。 							(達成度) 95.0% 33点
参加人数（人権啓発推進員による啓発事業、講演会等）	人	目標値			4,990	4,990	4,990
		実績値			7,558		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 参加者数については目標値は達成したものの、会場変更等、参加者が減少する可能性もあった。事業を継続することで一定数の支持は得ていると思われる。 							(達成度) 151.5% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	67,812	66,302	66,670	66,670
（事業費）	[円]	45,669	43,271	43,117	43,117
（職員人件費）	[円]	22,143	23,031	23,553	23,553

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

開催回数を重ね、着実に事業が定着している反面、屋外開催時の天候等流動的要素が多いため参加人数を持って指標とするのは合理的でない側面もある。市民意識調査等違う指標を検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

- ・人権尊重都市たかまつ市民会議との連携強化に努める。
- ・高松市人権施策推進懇談会の意見を聴取し、各種啓発事業に反映する。